

再評価調査書

事業名		堺泉北港海岸 堺地区 高潮対策事業		
所在地		堺市大浜北町 外 地内		
再評価理由		事業採択から10年を経過した時点で継続中		
事業概要	目的	既往最大である伊勢湾台風級の台風が大阪に甚大な被害をもたらした室戸台風コースで北上した時を想定した計画台風に対応できるよう、護岸の改良及び液状化の対策を施し、背後住民等の生命財産の保全を図ることを目的とする。		
	内容	高潮対策事業 事業実施延長 L = 3,165m 護岸改良 2,020m 胸壁改良 1,145m 水門改良 2基		
	事業費	全体事業費 70.8億円		
	維持管理費	4.7億円 「海岸事業の費用対効果分析マニュアル」により、事業完了から総事業費の0.5%/年が施設耐用年数の50年間必要として、現在価値化(基準年度平成15年度)として算出した金額		
	上位計画	大阪湾沿岸海岸保全基本計画 大阪府都市基盤整備中期計画(案)		
	関連事業			
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析
		事業採択年度 H6	事業採択年度 H6	予定どおり進捗している。
		事業着手年度 H6	事業着手年度 H6	
		完成予定年度 H26	完成予定年度 H26	
	進捗状況		用地 % 工事 52%	
途中段階の整備効果発現状況		高潮からの防御を目的とするため、途中段階での効果発現は出てこない。	事業完了することにより整備効果が発現される。	
事業進捗に関する課題				

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		<p>護岸は昭和40年までに整備されたものであり、計画台風に対応できる天端高さに不足し、かつ老朽化も進んでいる。また、水門は昭和28年に建造されたものであり老朽化が著しく、機能低下を招いている。</p> <p>当該地区の背後地は、高度・高密度な都市域を控えており、台風時の高潮や地震時の津波等により災害が起こると、人命を含め多大な被害が発生する。</p> <p>当該地区の護岸は天端高不足の解消や地震による液状化対策のための耐震強化整備が重要な課題となっている。</p>	<p>現況の天端高さ(0.P.+5.50)を計画台風に対応できる天端高さ(0.P.+6.00)に護岸の改良を進めている。また、水門については当該地区内の2基の内1基、完了している。</p> <p>阪神・淡路大震災(平成7年度)以降は、耐震性強化の必要性を検討した上で、適切に対応していく必要がある。</p> <p>新たなる海岸保全基本計画の策定により、防護のみではなく、環境面、利用面を配慮した整備が必要となっている。</p>	<p>当該地区背後は歴史的にも古く、海岸保全施設も過去の台風などの災害を受けて整備が進められてきているが、現況施設だけでは高潮災害からの被災は免れない。</p> <p>自然と触れ合えるスペースとして積極的な創出をはかり、隣接する公園や歴史的価値のある史跡堺旧燈台と協調した整備を行うことにより、環境面、利用面に配慮する。</p>
	地元等の協力体制		<p>・地元自治体(堺市)の早期安全確保、早期完了の強い要望とともに、事業に対する協力体制を示している。</p> <p>表面管理は地元自治体(堺市)が行っている。</p>	

		計画時の想定	備考	現時点での状況（変更点）	分析
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益分析の手法が確立されておらず、算出できず。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な便益内容 高潮防護便益 受益者 背後住民 商工業施設等従事者 費用便益算定の根拠 「海岸事業の費用対効果 分析マニュアル」 (平成11年6月 運輸省港湾局) 	<ul style="list-style-type: none"> $B / C = 2.47$ 便益総額 B = 181.3億円 総費用 C = 73.5億円 	
	その他の指標 (代替指標)		<ul style="list-style-type: none"> 指標の注釈 		
事業効果の定性的分析	安全・安心	現況施設では高潮災害からの被災は免れないが、護岸の改良を行うことにより浸水被害が起こらないため、背後住民等の安全性が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 受益者など 背後住民 商工業施設等従事者 背後公共施設利用者 	変更点特になし	
	活力	高潮時における商業施設の停止、交通の抑制が軽減されるため、地域の発展に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 受益者など 背後住民 商工業施設等従事者 	変更点特になし	
	快適性	高潮時における浸水区域内住民及び就業者等の不安が解消され居住や就業に対する快適性が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 受益者など 背後住民 商工業施設等従事者 	変更点特になし	
	その他				
自然環境等への影響と対策				<p>自然と触れ合える水と緑のオープンスペースとして積極的な創出をはかる。 隣接する大浜公園や歴史的価値のある史跡堺旧燈台との協調された海岸線の整備を行う。</p>	
その他特記すべき事項					